

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月3日

上場会社名 ニチレキ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5011 URL <http://www.nichireki.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小幡 学  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 高橋 保守 (TEL) 03-3265-1511  
 管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月5日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	7,868	4.3	△318	—	△273	—	△262	—
28年3月期第1四半期	7,542	△13.5	△414	—	△347	—	△466	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △546百万円(—%) 28年3月期第1四半期 △212百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△9.17	—
28年3月期第1四半期	△16.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	53,566	41,857	78.1
28年3月期	59,144	42,977	72.7

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 41,857百万円 28年3月期 42,977百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	20.00	20.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,500	0.5	450	122.8	550	104.2	350	—	12.21
通期	50,000	2.6	4,600	5.0	4,700	5.0	3,100	16.0	108.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	31,685,955株	28年3月期	31,685,955株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	3,013,503株	28年3月期	3,013,391株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	28,672,493株	28年3月期1Q	29,076,316株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用情勢の改善傾向が続き、緩やかな回復基調にあったものの、中国をはじめとする新興国経済の減速や英国のEU離脱問題等による世界経済の下振れ懸念および為替相場の変動等により、景気の先行きは不透明な状況が強まりました。

当社グループを取り巻く環境につきましては、平成28年度当初予算における公共事業関係費について、一般会計で前年度当初予算比横這いの中、受注競争の激化など、引き続き厳しい状況となりました。

当社グループは、このような環境の中で、中期経営計画『Next 2020』の初年度として、環境変化への適応力をさらに高め、強固な企業体制・経営基盤の構築を図っていくことを基本方針とし、「顧客の拡大と深耕」に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は7,868百万円（前年同四半期比4.3%増）となりました。また、営業損失は318百万円（前年同四半期は営業損失414百万円）、経常損失は273百万円（前年同四半期は経常損失347百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は262百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失466百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### 「アスファルト応用加工製品事業」

アスファルト応用加工製品事業につきましては、自社製品および工法の設計・受注活動を推進するとともに、原材料価格変動への対応を図りました。当第1四半期連結累計期間の売上高は2,731百万円（前年同四半期比10.3%減）、セグメント利益は372百万円（前年同四半期比30.8%増）となりました。

#### 「道路舗装事業」

道路舗装事業につきましては、自社工法の設計活動や発注物件への工法提案を強化するとともに、原価管理を徹底いたしました。当第1四半期連結累計期間の売上高は5,066百万円（前年同四半期比14.4%増）、セグメント損失は180百万円（前年同四半期はセグメント損失352百万円）となりました。

#### 「その他」

その他につきましては、不動産賃貸収入などにより、売上高は70百万円（前年同四半期比0.7%減）、セグメント利益は52百万円（前年同四半期比3.5%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べて5,577百万円減少し、53,566百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が7,360百万円、電子記録債権が426百万円、建設仮勘定が804百万円減少、現金及び預金が1,507百万円、建物及び構築物が1,314百万円増加したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて4,458百万円減少し、11,709百万円となりました。これは、買掛金が2,515百万円、未払法人税等が1,250百万円、賞与引当金が380百万円減少したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1,119百万円減少し、41,857百万円となりました。これは、利益剰余金が836百万円、その他有価証券評価差額が284百万円減少したことなどによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成28年5月11日発表の数値を変更していません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響額は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,500	19,008
受取手形及び売掛金	16,426	9,066
電子記録債権	1,639	1,212
有価証券	15	15
商品及び製品	726	882
未成工事支出金	160	437
原材料及び貯蔵品	615	658
未収還付法人税等	—	235
繰延税金資産	436	369
その他	175	316
貸倒引当金	△41	△9
流動資産合計	37,654	32,194
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,416	5,730
機械装置及び運搬具(純額)	3,201	3,115
土地	4,350	4,350
リース資産(純額)	281	272
建設仮勘定	856	52
その他(純額)	474	658
有形固定資産合計	13,581	14,179
無形固定資産		
その他	409	392
無形固定資産合計	409	392
投資その他の資産		
投資有価証券	4,412	4,022
関係会社出資金	786	786
関係会社長期貸付金	582	582
繰延税金資産	488	604
長期預金	705	305
その他	607	588
貸倒引当金	△58	△63
投資損失引当金	△26	△26
投資その他の資産合計	7,498	6,800
固定資産合計	21,489	21,372
資産合計	59,144	53,566

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,987	3,471
短期借入金	700	700
未払金	2,596	2,270
未払法人税等	1,254	3
賞与引当金	760	379
その他の引当金	138	35
その他	925	1,200
流動負債合計	12,363	8,061
固定負債		
長期末払金	30	29
リース債務	265	255
長期預り金	48	48
繰延税金負債	417	306
環境対策引当金	0	0
退職給付に係る負債	2,935	2,901
資産除去債務	104	104
固定負債合計	3,803	3,647
負債合計	16,167	11,709
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,919	2,919
資本剰余金	2,017	2,017
利益剰余金	38,082	37,246
自己株式	△1,778	△1,778
株主資本合計	41,241	40,404
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,770	1,486
退職給付に係る調整累計額	△34	△33
その他の包括利益累計額合計	1,736	1,452
純資産合計	42,977	41,857
負債純資産合計	59,144	53,566

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
売上高	7,542	7,868
売上原価	6,350	6,353
売上総利益	1,192	1,514
販売費及び一般管理費	1,606	1,833
営業損失(△)	△414	△318
営業外収益		
受取利息	3	14
受取配当金	58	66
為替差益	2	—
その他	3	2
営業外収益合計	68	83
営業外費用		
為替差損	—	34
その他	0	3
営業外費用合計	0	37
経常損失(△)	△347	△273
特別利益		
固定資産売却益	7	6
特別利益合計	7	6
特別損失		
固定資産除却損	11	9
災害による損失	—	6
退職特別加算金	12	4
その他	—	0
特別損失合計	24	20
税金等調整前四半期純損失(△)	△364	△287
法人税、住民税及び事業税	63	17
法人税等調整額	38	△42
法人税等合計	102	△24
四半期純損失(△)	△466	△262
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△466	△262



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純損失(△)	△466	△262
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	264	△284
退職給付に係る調整額	△10	1
その他の包括利益合計	253	△283
四半期包括利益	△212	△546
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△212	△546

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	アスファルト 応用加工製品 事業	道路舗装 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,044	4,427	7,471	70	7,542	—	7,542
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,138	—	1,138	13	1,151	△1,151	—
計	4,182	4,427	8,610	84	8,694	△1,151	7,542
セグメント利益又は損失 (△)	284	△352	△67	54	△13	△401	△414

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、損害保険代理事業等であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額 △401百万円にはセグメント間取引消去△17百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△383百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	アスファルト 応用加工製品 事業	道路舗装 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,731	5,066	7,797	70	7,868	—	7,868
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,297	—	1,297	12	1,310	△1,310	—
計	4,028	5,066	9,095	83	9,178	△1,310	7,868
セグメント利益又は損失 (△)	372	△180	192	52	244	△563	△318

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、損害保険代理事業等であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額 △563百万円にはセグメント間取引消去△35百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△528百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。